

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
中・北空知地域	芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、幌加内町	平成 22 年度～平成 26 年度	平成 22 年度～平成 26 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成20年度)	目 標 (平成27年度) A	実 績 (平成27年度) B	実績 B / 目標 A
排出量	事業系 1 事業所当たりの排出量	1.82 t	1.77 t	113.0 %
	家庭系 総排出量	29,596 t	26,618 t	106.9 %
	1 人当たりの排出量	206.7 kg/人	201.0 kg/人	110.5 %
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	42,457 t	39,142 t	104.4 %
最終処分量	埋立最終処分量	5,075 t	4,673 t	141.2 %

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

<p>【ごみ処理】</p> <p>■排出量 本地域は、平成15年度にごみ有料化を実施し、市町によっては約4割もの大幅な減量となり、大きなリバウンドもなく推移してきたところであるが、平成22年度頃よりリバウンドと思われる動きがみられる状況であった。 事業系については、事業所数（排出量の多少を考慮しない）が統計調査時点値比較で87.7%と大幅減にかかわらず、業種、業態などによる排出量の減が小幅だったためと思慮する。 家庭系については、人口減に比べ世帯数の減少が少ないこと、生活様式の変化による使い捨て製品の利用増、子世帯との同居のための転居及び介護施設入所等による家財道具の一括処理などが大きく影響していると思慮する。</p> <p>■最終処分量 4町で粗大ごみ及び不燃ごみの直接埋立から破砕分別処理への変更もあり減量化の促進が期待されたが、中間処理施設のうち焼却処理施設での目標設定時の減量見込量が過大で、残さ見込量が過少であったことが大きな要因と思慮する。 また、排出量の削減が計画値未達であること、火災廃棄物等の直接埋立物が多かったことも影響していると思慮する。</p>
--

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成 35 年度まで

【ごみ処理】

排出量の減量は、資源ごみを除く品目の手数料値上げ、資源ごみの品目増、一部区域での資源ごみの無料化、減量の啓発などごみ排出量の抑制、減量化に取り組んできているところであるが、引き続き、分別の徹底、減量化及び資源化の促進について、広報、チラシ、ホームページなどを通じた啓発活動などを行い一層の推進を行う。

最終処分量の減量は、排出量の減量化取組、一部区域での粗大ごみ及び不燃ごみの直接埋立から破碎分別処理への変更による減量など行ってきたが、より一層の再生利用推進及びごみ排出量抑制による中間処理後残さ発生量削減など減量に努める。

(都道府県知事の所見)

(ごみ処理)

有料化等の施策が行われ、再資源化施設、熱回収施設（焼却処理施設）等が整備されたこの地域では、施策や施設の維持管理等の工夫により減量化を進めることになると考えられ、示された目標達成の方策は適切と考えます。